

2014年3月27日

「日射遮蔽スライディング オープンルーバー」発売 ～高い日射遮蔽性能により冷房費・CO₂排出量（年間）を約23%削減^{*1}～

YKK AP株式会社（社長：堀 秀充、本社：東京都千代田区、資本金：100億円）は、窓の外で日射を遮蔽する上吊引戸形式のルーバー「日射遮蔽スライディング オープンルーバー」を2014年4月1日に発売し、「小エネ（ローエネ）」^{*2}提案の強化を図ります。

YKK APでは、窓の断熱性能を高めることで、空調設備等への依存を少なくし快適な住環境を実現できる「小エネ（ローエネ）な暮らし」を推進しています。昨今の電力需給問題による全国的な省エネ意識の高まりや、住宅の断熱性能と健康との関わりを指摘する研究も増えるなど、より一層の断熱性能の向上に対する需要は大きな高まりを見せています。YKK APは、窓の遮熱性能を補完する「日射遮蔽スライディング オープンルーバー」を発売し、パッシブハウス^{*3}などの高断熱住宅にも対応する、より高い次元での「小エネ（ローエネ）な暮らし」の提案と普及を図ります。

「日射遮蔽スライディング オープンルーバー」商品イメージ



（使用時）



（収納時）

〔商品仕様・概要〕

1. 日射遮蔽効果

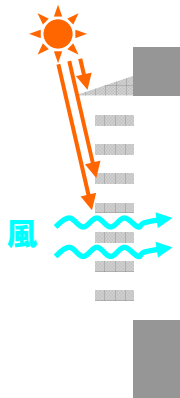
夏季はルーバーを閉じて直射日光を遮蔽することで、高い日射遮蔽効果を発揮します。アルミ樹脂複合窓（複層ガラス）の住宅にこの商品を導入した場合の効果は、年間での冷房費およびCO₂排出量は約23%^{*1}の削減、高断熱樹脂窓「APW330」とともにご利用になると効果は更に高まり約39%^{*1}の削減を実現します。

また、“すだれ”のように隙間の小さい日射遮蔽商品は風を通しにくくなりますが、「オープンルーバー」は風が通過できる隙間が確保された構造であることから、通風にも適しています。夏場の夜間や春や秋などの中間季には窓を開けた自然換気により、快適な住空間を実現します。

①夏季

太陽高度が高い

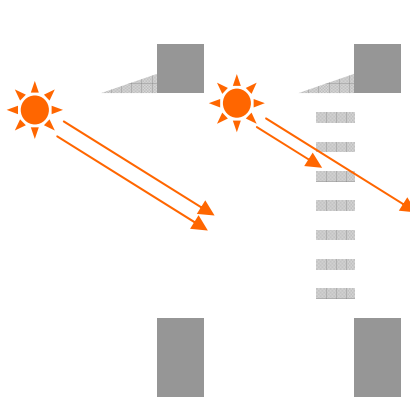
(東京 夏至 77°)



②冬季

太陽高度が低い

(東京 冬至 32°)



①夏季

高い角度から降り注ぐ日射熱を「オープンルーバー」が遮蔽します。

②冬季

角度が低い日差しを取り込み、室内をほどよく暖めます。「オープンルーバー」を収納すれば更に多くの日射熱を取り込めます。

2. 眺望性

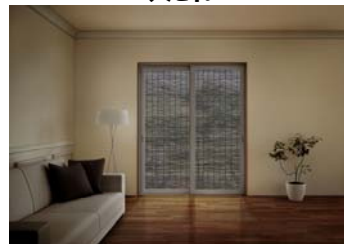
ルーバー間に 85mm の大きな間隔を設けているので、室内から室外の眺望を楽しむことができます。また、すだれや内部ブラインド等と比較して室内が薄暗くならず、圧迫感ありません。

窓のみ



まぶしい...

すだれ



暗い...

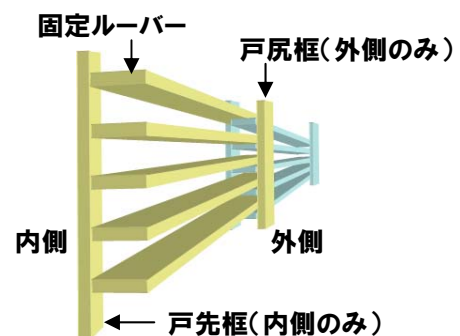
オープンルーバー



眺望を確保し適度な明るさ

3. フラットデザイン

戸先枠は内側のみ、戸尻枠は外側のみとし、隣合う障子のルーバー高さを互い違いにずらすことで、障子を引込んだ際に、同じ見込み位置でほぼ障子 1 枚分の幅に納まります。



4. 開口部の出入り

テラスサイズの窓に設置して出入りする際、窓と同様に立ったまま開閉してスムーズに出入りすることができます。すだれ等の様に、窓を開けた後にしゃがんで持ち上げる必要がありません。

5. 視覚的犯罪抑止効果

格子状のルーバー障子により、視覚的な犯罪抑止効果が期待できます。

商品概要	
商品名	「日射遮蔽スライディング オープンルーバー」
構造	上吊引戸（固定ルーバー障子）
商品バリエーション	【障子建枚数】 2枚建・3枚建・4枚建 【上枠出幅】 200mm・220mm 【錠受仕様】 標準仕様：錠受部品壁付け 縦枠仕様：縦枠壁付け
オプション	バルコニー納まり（2014年7月発売予定）
基本性能	耐風圧性 S-3
カラーバリエーション	ホワイト、ピュアシルバー、プラチナステン、 ブラウン、カームブラック 計5色
参考価格	2枚建・上枠出幅 200mm・標準仕様 ルーバーW（開口部1間用）2,625mm × ルーバー高さ 2,497mm プラチナステン色 262,700円 ※消費税・現場搬入費・取付費は含まれません。
発売地域	全国
発売日	2014年4月1日
売上目標金額	2014年度 1億円 2016年度 2億円

※1:年間冷房費・CO₂排出量の削減率は、アルミ樹脂複合窓（複層ガラス）を使用したモデル住宅との社内比較解析値。

※2:断熱性能を高めるとともに、光・風など自然の恵みを利用して小さなエネルギーでも快適な生活。

※3:ドイツの「パッシブハウス研究所」が規定する基準を満たす断熱性能に優れる認定住宅。

＜ お客様からのお問い合わせ先 ＞

YKK AP株式会社 お客様相談室
 一般のお客様 TEL：0120-20-4134
 建築・設計関係者様 TEL：0120-72-4134
<http://www.ykkap.co.jp>

＜ 報道関係者からのお問い合わせ先 ＞

YKK AP株式会社
 広報室 長沼 史宏
 TEL：03-3864-2321 FAX：03-3864-2290
 E-mail：k_ykkap@ykkap.co.jp